

さいわい虹便り

No.77

発行者 深井純子 吉田唯之 齊藤淳子 滝口洋子 篠沢 香



厚生労働省からの四つの方針をお知らせします。
介護保険制度や報酬については、難しい表現も多く理解しづらいこともあるかとおもいますが一人一人が関心を持っていくことが大切です。

①地域包括ケアシステムの推進

- 医療と介護の連携
- 中・重度の方重視
- 自立支援サービスに評価制度をつくる

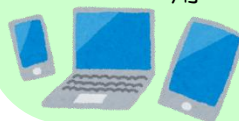
②自立支援・重度化防止に資する質の高いサービスの実現

- リハビリテーションにおける結果評価の拡充を図る
- リハビリ専門職と介護職員との連携・医師の関与の強化
- 身体拘束等の適正化の推進



③多様な人材確保と生産性の向上

- 生活援助の担い手の拡大
- 介護ロボット活用の促進
- ICT（情報通信技術）を活用した医療連携の会議への参加



④介護サービス適正化・重点化を図ることにより制度の安定性・持続可能性を確保

- 福祉用具貸与価格の上限を設定
- 集合住宅（マンション等含む）への介護報酬の減算
- 通所介護の基本報酬のサービス提供時間区分の見直し



さいわい虹便りは、ホームページでもご覧いただけます。
（バックナンバーも公開中です。）

さいわい虹だより


<https://sekishinkai-zaitaku.jp>

QRコードからも
アクセスできます

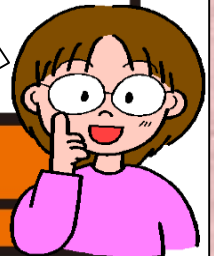


事業所紹介

福祉用具

レンタルさいわいの巻

の巻



皆さま、こんにちは！

福祉用具レンタルさいわい所長の
吉田唯之です。

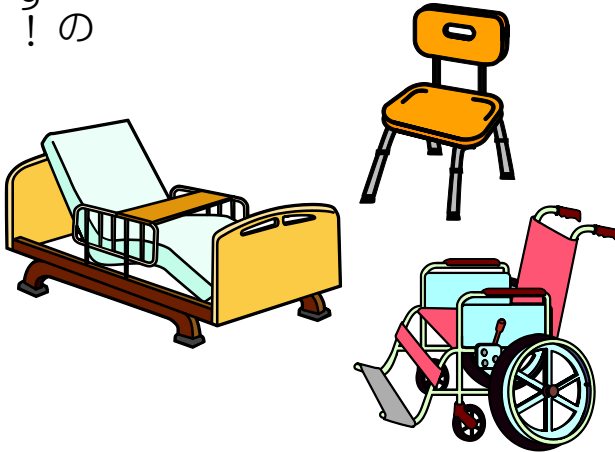
福祉用具って便利ですけど、
種類がたくさんあって、その中
からどうやって選べば良いのか
分からないですよ。

そんな時には、私たち福祉用
具レンタルさいわいの福祉用具
専門相談員のスタッフに、ぜひ
聞いてみてください。

個々のケースに合った専門的
なアドバイスをさせてもらいま
す。

今回は、

「福祉用具レンタルさいわい」の
お仕事を少しだけご紹介します！



いろいろな相談

福祉用具レンタルさいわいの峯尾貴之
です。

日頃、私たちはいろいろな
方々から福祉用具についての
様々な相談を受けます。

住環境の相談や福祉
用具の機能についての
質問、日程の調整から
関係者との調整など、
日々の業務では一番多
い仕事です。



地域にお住いの方々が、
福祉用具について、いろい
ろな相談で来所されること
もあります。
希望に沿った最適な福祉
用具を選んで、利用につい
ての提案をしています。



電話でご相談いただく
ケースが多いです。

ケアマネジャー
ご利用者
ご家族 etc..

相談
調整
緊急対応
etc..



福祉用具を選ぶときは

福祉用具レンタルさいわいの寺川浩司です。

お身体に合った福祉用具を選ぶために、実際にご自宅へ伺って、ご本人の状況や住環境、用具の希望の確認などをしたり、福祉用具の調整をおこないます。

皆さま一人ひとりが使いやすい福祉用具を選び、実際に使ってもらったためには、大切な仕事です。



お使いになる方に合わせて用具を調整します。

安全にお使いいただくため、使用されている福祉用具の点検やメンテナンスも、訪問して定期的におこなっています。



まずはカタログを見ながらご説明します。



福祉用具の勉強

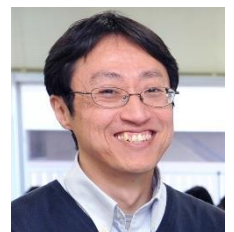
福祉用具レンタルさいわいの渡辺文祐です。

私たちは、日頃より、スタッフ全員で福祉用具についての勉強会をおこなっています。

福祉用具の使い方や機能などを定期的に勉強して、皆さまが使いやすい福祉用具を選定できるようにしています。

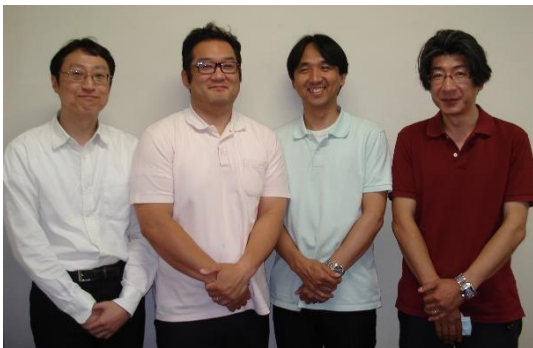


他事業所と合同で勉強会をおこなうケースもあります。



いかがでしたか。今後も、地域の皆さんのお役に立てるよう、スタッフ全員で頑張っていきます。

お気軽にご相談ください！



あらかじめ、備えておこう

～防災訓練をおこないました～

四月十八日と十九日、事務所内にて、「地震に備え、あらかじめ準備しておくべきことは何か」をテーマに防災訓練をおこないました。

まずは、揺れから

身を守らなければ

自分が座っている周りを見回し、落下してくるもの、倒れてくるもの、割れるものはないか確認しました。「コピー機が動いてくるかも」「蛍光灯が割れるかも」「棚の上の荷物が危ないかも」等々、具体的な場所を指摘する声が聞こえました。



揺れがおさまった後は

今度は停電や断水、電話が不通になるなどの被害が起こる可能性があります。飲み水や携帯用トイレの備蓄の必要性を確認しました。



避難をするのはどう?

火事が発生した場合などは、避難しなければなりません。広域避難場所が多摩川河川敷か御幸公園と知り、スタッフが一言。「広域避難場所、意外と遠いね。歩いて避難できるかな?」



今後も繰り返し訓練をおこない、地震に備えていきたいと思っています。



防災用の帽子を

職員全員分、備蓄しました



使い方を一緒に確認しました。



「これで合ってる?」
「こんな感じでいいの?」



いざという時に、すぐに着用できるよう、皆で練習しました。

【編集後記】日中は汗ばむような陽気の日が増えてきました。今年の夏は例年よりも気温が高めとなる可能性が高いようです。「平成最後の」夏も、体調管理に十分気をつけて、無事に乗り切りたいですね。

編集者 森由貴 渡辺文祐 新庄裕子 藤枝千華 宮本祥代